

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

2024年6月25日

豊 田 市 長 殿

提出者

住 所

豊田市大林町1-81

氏 名

トヨタすまいるライフ(株)

代表取締役 伊藤 憲行

電話番号

0565-24-1295

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	トヨタすまいるライフ(株)
事業場の所在地	豊田市大林町1-81
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06: 総合建設業
② 事業の規模	2023年度 売上高: 317億円
③ 従業員数	1531人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	戸建て住宅の新築、解体、修繕、模様替え工事 ・ 廃プラ→再生処理業者へ委託してRPF燃料化 ・ 木くず→再生処理業者へ委託してチップ化 ・ 石膏ボード製造メーカーへ委託して再原料化、再生処理業者へ委託して、地盤改良材、段ボール原料へ再資源化 ・ 紙くず→再生処理業者へ委託して再原料化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

建設部長（監査責任者）

建設総括室主幹（産業廃棄物対応責任者）

品質G（廃棄物管理担当者）

建設部－すまいるサポート部－ライフサービス部－シニアライフ事業部－総務部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類

廃プラ

木くず

排出量

416.5 t

394 t

（これまでに実施した取組）

新築現場

廃プラスチック：床養生材の再利用

木くず：木製部材固定木を鉄製に変更してリユース化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

廃プラスチック

木くず

排出量

374 t

354 t

（今後実施する予定の取組）

これまでの取組の継続実施

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

新築現場：廃プラ・木くず・紙くず・石膏ボード陶磁器くず・混合（分別小袋を使用）の6分別

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現場PTを通じ、現場での分別状況を関係者にFBし弊社建築現場での分別廃棄ルールを社内外の関係者に周知を図る

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全 処 理 委 託 量	416.5 t	394 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	297 t	325.4 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	316 t	394 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	287.6 t	272.4 t
	(これまでに実施した取組)		
	廃プラ：シール材と固形プラの分別を行い、中間処分場で選別、 破碎処理後、RPF化施設で燃料化 木くず：分別回収を行い中間処分場で破碎処理後、チップ化 燃料、原料として再資源化		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全 処 理 委 託 量	3 7 4 t	3 5 4 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 6 7 t	2 9 2 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2 8 4 t	3 5 4 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	2 5 8 t	2 4 4 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組維持		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の委託に関する事項 別紙

① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず
	全処理委託量	２００．８ｔ	６０．４ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	９１．１ｔ	５８．７
	再生利用業者への処理委託量	２００．８ｔ	６０．４ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 紙くず：現場で分別した紙くずを古紙業者にて再資源化 金属くず：現場で分別した金属を２次中間処分場で圧縮し製鉄メーカーでリサイクル		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属
	全処理委託量	１８０ｔ	５４ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	８２ｔ	５２ｔ
	再生利用業者への処理委託量	１８０ｔ	５４ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組を継続		

産業廃棄物の委託に関する事項 別紙

① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	３３１．３ｔ	２３８．５ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	４６．０ｔ	１７８．３ｔ
	再生利用業者への処理委託量	３３１．３ｔ	５３．７ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 石膏ボード：現場で分別した石膏ボードを回収し、製造メーカーで再原料化 ガラス陶磁器くず：現場で分別した陶磁器くずを中間処分場で選別、セメントメーカーの原料としてリサイクル		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	２９８ｔ	２１４ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	４１ｔ	１６０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	２９８ｔ	９０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組を継続		

産業廃棄物の委託に関する事項 別紙			
① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート	瓦礫類
	全処理委託量	３０３．５ｔ	１８４．４ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	２４５ｔ	１７８．４ｔ
	再生利用業者への処理委託量	３０３．５ｔ	１２５．０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	(これまでに実施した取組) アスファルト・コンクリート：現場で分別したアスコンを建設副産物として アスコン製造工場で原料化 瓦礫類：現場で発生したがれき類を中間処分場で選別、破碎して路盤材にリサイクル		
	② 計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		アスファルト・コンクリート	瓦礫類
全処理委託量		２７３ｔ	１６５ｔ
優良認定処理業者への処理委託量		２２０ｔ	１５９ｔ
再生利用業者への処理委託量		２７３ｔ	１１２ｔ
認定熱回収業者への処理委託量		０ｔ	０ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		０ｔ	０ｔ
(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続			

産業廃棄物の委託に関する事項 別紙

① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	繊維くず
	全処理委託量	５５９．８ｔ	２．１ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	２８４．１ｔ	１．８ｔ
	再生利用業者への処理委託量	４４０．９ｔ	２．１ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	１９５．８ｔ	２．１ｔ
	（これまでに実施した取組） 混合廃棄物：現場で小袋で分別した状態の産廃を中間処分場でさらに選別 プラ、紙、金属等品目毎に再資源化 繊維くず：解体現場で発生する古畳をRPF製造工場でRPF化		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	繊維くず
②計画	全処理委託量	５０３ｔ	１．９ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	２１０ｔ	１．６ｔ
	再生利用業者への処理委託量	３９５ｔ	１．９ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	１７５ｔ	１．９ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の委託に関する事項 別紙

① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	５．９ｔ	ｔ
	優良認定処理業者 への処理委託量	０ｔ	ｔ
	再生利用業者へ の処理委託量	０ｔ	ｔ
	認定熱回収業者 への処理委託量	０ｔ	ｔ
	認定熱回収業者 以外の熱回収を 行う業者への処 理委託量	０ｔ	ｔ
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿産業廃棄物	
	全処理委託量	５．３ｔ	ｔ
	優良認定処理業者 への処理委託量	０ｔ	ｔ
	再生利用業者への 処理委託量	０ｔ	ｔ
	認定熱回収業者 への処理委託量	０ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	０ｔ	ｔ
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタすまいるライフ(株)	従業員数 (人)	1531	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	吉田 光志	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	3,174,542	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-24-1295	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		廃プラ	木くず	紙くず	金属くず	石膏ボード
前年度計画の実施状況 (年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	417	394	201	60	331
	b 有価物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	417	394	201	60	331
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	417	394	201	60	331
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	417	394	201	60	331
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	417	394	201	60	331
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	316	394	201	60	331
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	100	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	316	394	201	60	331
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	0	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	100	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタすまいるライフ㈱	従業員数(人)	1531	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	吉田 光志	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	31,745,541	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	0565-24-1295	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		ガラス陶磁器くず	アスファルト・コンクリート	瓦礫類	建設混合廃棄物	繊維くず
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	239	304	184	560	2
	b 有償物量(t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	239	304	184	560	2
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	239	304	184	560	2
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	239	304	184	560	2
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	239	304	184	560	2
	処理方法	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	331	304	125	441	2
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	180	0	59	119	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	54	304	125	441	2
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	0	0
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	180	0	59	119	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタすまいるライフ(株)	従業員数(人)	1531	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	吉田 光志	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	3,174,542	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	0565-24-1295	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		石綿含有産業廃棄物				
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績	a 不要物等発生量(t/年)	6				
	b 有償物量(t/年)	0				
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	6				
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0				
	処理方法	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0				
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)	0				
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0				
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	6				
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	6				
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	0				
	処理方法	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0				
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	6				
	埋立処分先	A 県内 B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	0				
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0				
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	6				

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。